



# 第82話 「施設」から「住まい」へ



主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。今回紹介する「サービス付き高齢者向け住宅」を知っている人はどれほどいるでしょうか。さまざまサービスも利用でき、快適に生活を楽しめます！



祖父はJAが運営している「サービス付き高齢者向け住宅」に住んでいます

**大原 清次郎 (80)**  
母方の祖父で101号室の住人

クローゼットや棚まであるし一人暮らしみたくい

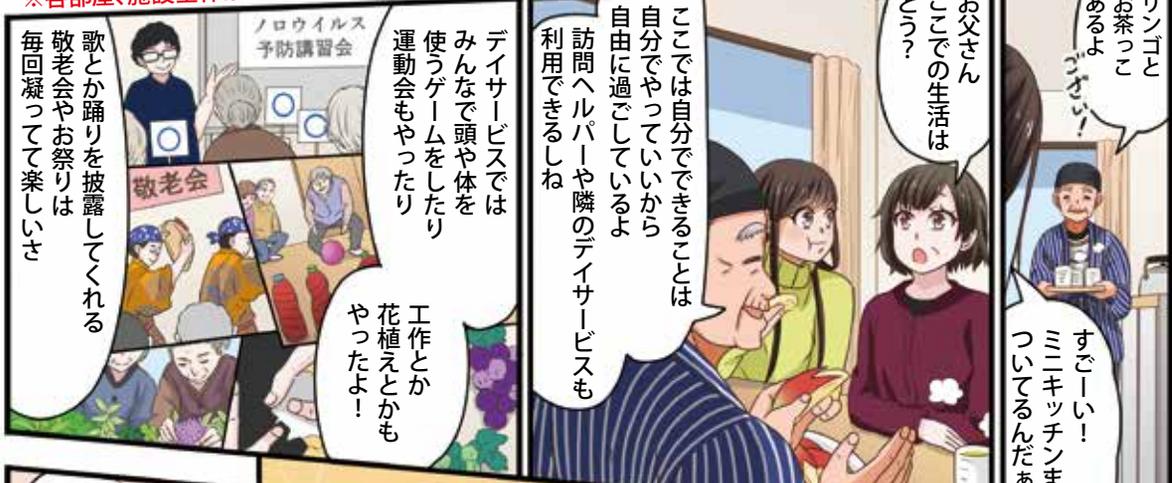
おいちゃん！ここって室内にトイレもお風呂もあるんだね

「施設じゃなくてこれってもう「住まい」だよな！」

掃除してたの？

いらっしやい

※各部屋、施設全体がバリアフリーで、廊下の壁は手すりが付いており安全です。



リンゴとお茶っこのあるよ

お父さんここでの生活はどう？

ここでは自分でできることは自分でやっていいから自由に過ごしているよ訪問ヘルパーや隣のデイサービスも利用できるしね

デイサービスではみんなで頭や体を使うゲームをしたり運動会もやったり

工作とか花植えとかもやったよ！

歌とか踊りを披露してくれる敬老会やお祭りは毎回凝って楽しいさ



よかったわ！私に気になってるのは体に負担なく過ごさせてのかなということなの

それこそ心配無用だよ介護のプロスタッフや24時間体制でサポートしてくれるもの

安心して生活できるよう健康管理や生活相談はもちろん緊急時は家族やケアマネジャーにすぐに連絡してくれるもの

体がつらいときは介護スタッフに相談しながらうまくやってるよ

とはいえ自分でできるうちはちゃんと自分でやらないとさ

あ、ランバの充電が終わった



自分で掃除せんのかいつ!!